

未来への協働

2021年8月19日(木) 第324号

●発行所 未来への協働
大阪府東大阪市荒本2丁目14-5
(06) 4306-3512
郵便振替 00940-8-213061
mirai_newsroom@yahoo.co.jp

●発行人 山本 康

●第1・3木曜日発行
●200円(本体182円)
●定期購読 購読料(送料別)
1月 400円(送料188円)
半年 2,400円(送料1,128円)
1年 4,800円(送料2,256円)

今号の主な内容

デジタル庁創設のねらい	2
沖縄で米軍有害物質流出	3
技能実習という奴隷労働	4
(本)咲ききれなかった花	5
被爆者は訴える 第3回	6

紙面へのご意見、ご感想を

上記発行所までお寄せください。FAXでも送れます(電話番号と同じ)。詩、短歌、川柳、写真なども募集しています。

統帥権、韓国移管が焦点

米韓合同演習 10日から開始 平和プロセスの現段階

米韓軍事演習が10日から始まった。今後16日か26日までの予定で本演習が予定されている。朝鮮民主主義人民共和国(朝鮮)は演習の中止を強く求めており、緊張が続く

韓国の文在寅大統領は「戦争をさせない」という方針を打ち出した。文氏は「戦争をさせない」という方針を打ち出した。文氏は「戦争をさせない」という方針を打ち出した。



南北軍事境界線を挟んで対峙する朝鮮軍(向こう側)と韓国軍の監視所(韓国・京畿道坡州=2020年6月17日撮影:EPA=時事)

日本のマスコミは、文在寅大統領が韓国でまったく支持されてないよう報道しているが、まったくのデータは、文在寅大統領の任期は5年で再選はない。そのため5年目の現職大統領の支持率は20%台になるのが普通だ。ところが文在寅の支持率は40%。これは異例の高さである。日本の

朝鮮政策は、一括妥結に焦点を置かず、戦略的忍耐に依存することでもない」と表明。トランプ政権ともオバマ政権とも違うという意味だ。

文・バイデン会談

5月21日の文在寅・バイデン会談で、「われわれは2018年の板門店宣言とシンガポール共同声明など既存の南北・朝米合意に基づいた外交と対話が、朝鮮半島の完全な非核化と恒久的な平和を成し遂げるために欠かせない」という共同の信頼

美浜も大飯もトラブル

関電に運転の資格なし

6月23日に再稼動した美浜3号機(写真左)だが、7月2日、タービンは電源停止時に、蒸気発生器に2次冷却水を給水するためのポンプ。保安規定で3台全てが運転可能な状態であることが求められている。



7月30日に本格運転に入ったばかりの大飯3号機でも、タービンを回す蒸気を水に戻す復水器を冷やす設備から、海水が漏れていたのが見つかった。8月4日のことだ。2系統ある配管の1系統の空気抜き弁付近に直径約4センチの円形の穴が開き、漏水していた。この配管が大きく破損すれば、原子炉を十分に冷やせなくなる恐れがある。それでも関電は漏水した系統のポンプを止め

8月6日の朝8時、平和公園。今年も身内の名前が刻まれた碑に行った。近くには教師と子ども、全滅した川内村、中島町、韓国人慰霊碑が並ぶ。広島市の式典と同時刻、それぞれの碑にゆかりの人たちが訪れ、非業の死を悼み、自他の平和を祈る

大飯3号機は海水漏れ

大飯原発3号機は運転開始から29年が経過し、昨年7月からの定期検査で、蒸気発生器周辺の配管に傷が見つかった。そのため検査が長期化した。この7月に運転を再開したばかりだ。「十分な点検を実施した」と言いながら、このありさまだ。運転開始から40年を超えた高浜1号機を23年6月、2号機を同7月に再稼働する運転計画を発表したが、このような関電に原発を動かす資格はない。(2面に関連記事)

9月1日に創設される予定のデジタル庁。政府が進めるデジタル改革のねらいは何か。その危険性について、今月6日、自治体情報政策研究所代表の黒田充さんが講演した。主催は戦争あかん！

（池内慶子）

い、効率的に利益を得たり、リスクを回避したりできる。

私たちが享受しているサービスは、監視によって実現されている。例えばクレジットカードやポイントカード（購買情報）、ICカード乗車券やETCカード（移動情報）、インターネット（検索履歴やメールの情報）、携帯電話（位置情報）など。これらの集められた個人情報、一つのサービスや企業、自治体、国家の標準化・共同化を図るもの。

総務大臣。別に「デジタル大臣」と「デジタル監」を置き、デジタル社会の形成に関する重点計画の作成や企画立案を行う。デジタル大臣は関係行政機関の長への勧告権を持つ。強力な総合調整機能を有し、国の情報システム予算を一括計上し、各府省に配分する。政府全体の情報システムを一元的に管理する。

マイナンバー制度、法的個人認証制度の所管が総務省や内閣府からデジタル庁に移る。J-ILIS（地方公共団体情報システム機構）の主務大臣を総務大臣から「内閣総理大臣+総務大臣」へと変更。主務大臣は定款の変更や理事長・監事の任命等に対する認可権などを持つ。デジタル庁は全ての省庁の上に君臨・支配する強大な権力を持つ組織となる。

デジタル庁の形式が自治体によってバラバラなので標準化が必要だ。そこで成立させたのが、データの標準化や個人情報保護条例「改正」などを盛り込んだデジタル改革関連法である。

総務大臣。別に「デジタル大臣」と「デジタル監」を置き、デジタル社会の形成に関する重点計画の作成や企画立案を行う。デジタル大臣は関係行政機関の長への勧告権を持つ。強力な総合調整機能を有し、国の情報システム予算を一括計上し、各府省に配分する。政府全体の情報システムを一元的に管理する。

マイナンバー制度、法的個人認証制度の所管が総務省や内閣府からデジタル庁に移る。J-ILIS（地方公共団体情報システム機構）の主務大臣を総務大臣から「内閣総理大臣+総務大臣」へと変更。主務大臣は定款の変更や理事長・監事の任命等に対する認可権などを持つ。デジタル庁は全ての省庁の上に君臨・支配する強大な権力を持つ組織となる。

デジタル庁創設のねらい

標準化法は、自治体の17の業務（住民基本台帳、固定資産税、国民健康保険など）の情報システムを一元的に管理する。

地方自治の形骸化

自治体は、国が整備するガバメントクラウドに載せられた標準システム（アプリケーション）を利用する（2025年度移行完了）。アプリケーションは国の策定した標準に基づいて複数のIT企業が作成。カスタマイズはできず、自治体に残された自由はアプリケーションを選ぶことだけだ。

自治体の独自施策（減免や上積み給付、適用範囲の拡大等）が困難になるという点で大きな役割を果たすことができる。

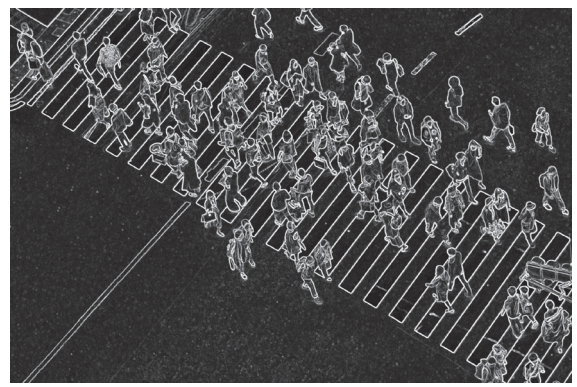
デジタル庁創設のねらい

標準化法は、自治体の17の業務（住民基本台帳、固定資産税、国民健康保険など）の情報システムを一元的に管理する。

地方自治の形骸化

自治体は、国が整備するガバメントクラウドに載せられた標準システム（アプリケーション）を利用する（2025年度移行完了）。アプリケーションは国の策定した標準に基づいて複数のIT企業が作成。カスタマイズはできず、自治体に残された自由はアプリケーションを選ぶことだけだ。

自治体の独自施策（減免や上積み給付、適用範囲の拡大等）が困難になるという点で大きな役割を果たすことができる。



デジタル庁の長は内閣



「黒い雨」訴訟の高東征二さんが、「10年目の

デジタル庁の長は内閣

デジタル庁の長は内閣

核時代を終わらせるため

核時代を終わらせるため

禁止条約、「黒い雨」画期に

禁止条約、「黒い雨」画期に



美浜3号機差し止め

普天間基地外に泡消火剤



PFOS含有「かなりの量」

風あおられ園児頭上にも

昨年4月11日、米軍普天間基地から有毒物質を含む泡消火剤が流出した事故を報ずる琉球新報

6月10日、沖縄県うるま市にある米陸軍貯油施設から消火剤2460リットルが流出する事故が発生した。消火剤には強い毒性を持つ有機フッ素化合物(PFAS:注)が含まれていた。沖縄県以外では、こうした重大事故がまったくと報道されていない。今回掲載するのは、米の平和団体ワールド・ビヨンド・ウォーの帕特・エルダー氏が6月23日に発表したレポートである。(翻訳)沖縄国際大学教授・佐藤学、平和活動家・照屋勝則、名古屋工業大准教授・シヨセフ・エサティエ、構成/本紙編集委員会)

世界最大の自然破壊者・米軍

シヨセフ・エサティエ

米軍は、世界で最も多くの化石燃料を消費し、単一の組織としては世界最大の温室効果ガス排出者だ。2000回以上の核実験により多大な住民に癌を引き起こした。湾岸戦争やイラク戦争では、劣化ウラン弾を使用、サダム・フセインに化学兵器を提供した。国防総省が、生物兵器プログラムに資金を提供している疑いさえある。これらは、米軍が世界一の自然破壊者であることの一例に過ぎない。

人類にとって重要なことは、ワシントンの一部のナリスストが東アジアを支配し続けることでも、世界の覇権を握るのがアメリカか中国かでもない。地球の豊かな恵みによって飢えることなく、子々孫々が幸せに生きるべきではないのか。ところで、米軍は有機フッ素化合物(PFAS)という毒性が強く環境に悪影響を及ぼす化学物質を、基地内で消火剤として使用している。周辺の土壌や河川の汚染被害が後を絶たない。基地周辺の住民は、汚染された水で生活している。この危

事件の概要は以下のとおり。6月10日、沖縄県うるま市にある米軍の「陸軍貯油施設」で、濃度は不明だがPFASを含む消火用水・約2460リットルが流出した。大雨の影響で基地の外へ流れ出たとみられる。基地の排水路は天願川につながっており、沖縄県が過去に実施した調査で、天願川では、高濃度のPFASが検出されている。「本紙は米軍に詳細を問い合わせ

わせているが、11日午後10時現在、回答はない。「米軍の回答はない」仮に、米軍が回答したとしても、彼らが何を言うかは想像できる。「沖縄県の健康と安全を懸念し、安全管理を確保し、再発防止を確実にするよう取り組んでいる」と。要するに「堪えてくれ、沖縄」ということだ。

再び沖縄で事故が

再発防止を確実にするよう取り組んでいる」と。要するに「堪えてくれ、沖縄」ということだ。沖繩の人びとは日本政府から「二級国民」扱いされている。米軍基地から消火剤の泡が基地外に飛散した。雲のような泡の

今回は陸軍による流出事件だが、米軍はこのような事件を繰り返して、沖繩の水と魚を汚染してきた。昨年4月には、沖繩の普天間海兵隊基地近くの住宅街に、発がん性のある巨大な泡が落ちてきた。海兵隊員が、基地内でもバーベキューを楽しんでいたり、火災探知機が作動、付近の格納庫からPFOSを含む泡が放出され、その消火剤の泡が基地外に飛散した。雲のような泡の

今年1月、沖縄県は、米軍基地周辺で実施したPFAS汚染にかんする水質調査の結果を発表した。それによれば、嘉手納基地周辺の民家地下水から、PFOSとPFOAの合計で3000ナノグラム(1リットル当たり)、また、普天間基地周辺の湧き水で2000ナノグラム(同)を検出(琉球新報電子版1月22日)。

米国の一部の州では、地下水にPFASが20ppt(濃度単位、ナノグラム/リットルと等値)以上を含まれてはならないという規制があるが、これが占領下の沖繩の現実である。

また、普天間基地での泡の流出(昨年4月)に際して、沖繩防衛局の報告書では、「人間にはほとんど影響を及ぼさなかった」というが、しかし、琉球新報の独自調査によれば、普天間基地付近の宇地泊川から、PFOSとPFOAの合計で247.2ナノグラム、牧港漁港の海水から、

地質 沖繩で流出事故が続発

深刻な健康被害の恐れ

ワールド・ビヨンド・ウォー パット・エルダー

塊が地上100フィート(約30メートル)の上空を浮遊し、住宅付近に落ちていたところを発見された。

沖繩という小さな島は、日本の国土のわずか0.6%を占めるにすぎないのに、そこに米軍専用施設の70%が集中している。沖繩は、ニューヨークロングアイランドのほぼ3分の1の大きさだが、32の米軍施設がある。

発がん性の泡

今年1月、沖繩県は、米軍基地周辺で実施したPFAS汚染にかんする水質調査の結果を発表した。それによれば、嘉手納基地周辺の民家地下水から、PFOSとPFOAの合計で3000ナノグラム(1リットル当たり)、また、普天間基地周辺の湧き水で2000ナノグラム(同)を検出(琉球新報電子版1月22日)。

米国の一部の州では、地下水にPFASが20ppt(濃度単位、ナノグラム/リットルと等値)以上を含まれてはならないという規制があるが、これが占領下の沖繩の現実である。

また、普天間基地での泡の流出(昨年4月)に際して、沖繩防衛局の報告書では、「人間にはほとんど影響を及ぼさなかった」というが、しかし、琉球新報の独自調査によれば、普天間基地付近の宇地泊川から、PFOSとPFOAの合計で247.2ナノグラム、牧港漁港の海水から、

発がん性の泡

(注) PFAS 炭素・フッ素結合を持つ化学物質約5000種類の総称。PFOSやPFOAなど。撥水剤・表明処理・消火剤などで普及。発がん性などの毒性があり、しかも分解されにくく蓄積するので「永遠に残る化学物質」と呼ばれる。国際条約でも生産・使用が規制されている。

日本の外国人政策と移民問題 (2) 鳥井一平

技能実習制度という奴隷労働

移民と日本、移住者の労働問題などについて鳥井一平さんの講演を取材し、了解を得て掲載しました。(取材、文責／高崎庄一)

93年に技能実習制度が定し「研修」させるといふ開始された。もともと「研修」で塗り固め、実際「研修」という制度は「留学」は労働者として働かせた。この技能実習制度は、90年に「研修」という在留資格を、技能実習制度を始め、技能実習生として「研修」しその後、技能検定試験を受ける。建設前は「開発途上国」に合格すると技能実習生となり、さらに1年間日本に滞在し「技能実習」が目的の試験に過ぎなかった。技能実習をさせた。この技能実習制度は、来日後1年間、研修生として「研修」しその後、技能検定試験を受ける。建設前は「開発途上国」に合格すると技能実習生となり、さらに1年間日本に滞在し「技能実習」が目的の試験に過ぎなかった。技能実習をさせた。

「研修」という在留資格を、技能実習制度を始め、技能実習生として「研修」しその後、技能検定試験を受ける。建設前は「開発途上国」に合格すると技能実習生となり、さらに1年間日本に滞在し「技能実習」が目的の試験に過ぎなかった。技能実習をさせた。

「研修」という在留資格を、技能実習制度を始め、技能実習生として「研修」しその後、技能検定試験を受ける。建設前は「開発途上国」に合格すると技能実習生となり、さらに1年間日本に滞在し「技能実習」が目的の試験に過ぎなかった。技能実習をさせた。

「研修」という在留資格を、技能実習制度を始め、技能実習生として「研修」しその後、技能検定試験を受ける。建設前は「開発途上国」に合格すると技能実習生となり、さらに1年間日本に滞在し「技能実習」が目的の試験に過ぎなかった。技能実習をさせた。



「研修」という在留資格を、技能実習制度を始め、技能実習生として「研修」しその後、技能検定試験を受ける。建設前は「開発途上国」に合格すると技能実習生となり、さらに1年間日本に滞在し「技能実習」が目的の試験に過ぎなかった。技能実習をさせた。

不合格にし、帰国させる理由づくりしている。相次ぐ人権侵害、奴隷労働。びくびくするような言葉だが、それを指摘したのが07年アメリカ国務省の人身売買年次報告書。「日本の技能実習制度は人身売買、奴隷制度ではないか」と示唆した。07年から20年版まで毎年指摘されている。国連の人権機関からも08年から勧告を受けている。とくに14年には厳しい勧告が出た。「知らぬは日本人ばかり」ということではないか。

ピンハネが当たり前 政府は、技能実習生の支給予定賃金しか調査しておらず実態調査をしていない。岐阜県のある縫製業者の場合、給料明細書には、時給300円、労働時間欄には230時間とあり、6万9千円と書いてある。これは「残業時間」。そこに書かれていない法定労働時間が1カ月174時間あり、1カ月で合計400時間を超え働かされていた。毎日、夜の10時まで土、日も働かないと、そうならない。給与明細には「ま」とめ「がある。縫製業では内職仕事を「ま」とめ」と言う。寮に帰ってから

1個10銭とか20銭の仕事をやると、それを合わせる。と7万6232円、これが残業代。これには基本給が書かれていない。控除額の欄に食費1万5千円とされており、引かれずには足され、差引支給額9万1232円となる。意味不明、岐阜に行き、彼女の話を聞き、ようやくわかった。「食費1万5千円」と書かれているのが、実は基本給だった。正確に言うと、この給料支払明細書には書かれていないが、毎月「強制貯金」が3万5千円引かれていたから、合計5万円が基本給となる。しかし、5万円では政府の発表している賃金データの額に全然足りない。この人の雇用契約書では、月額12万5千円と書いていた。12万5千円と5万円の差額7万5千円は、ピンハネされている。

茨城県の地方都市のある会社の賃金台帳では、基本賃金と残業代などで合計18万円くらいになっているが、布団リース代が1カ月6千円、家賃として5万5千円引かれていく。しかも3人部屋なのに、1人5万5千円が徴収されている。他にもリース、リースで引かれ

ている。会社の理事長に「このリース会社からリースしているのか」尋ねると、「私がリースしている」と言う。とんでもない。愛知県豊田市にある某大手自動車メーカーの構内孫請け会社では、研修生・実習生たちのトイレの使用回数と使用時間をチェックしていた。何分トイレに行ったか記録し、1分につき15円の罰金を取っていた。2段ベッドのカイコ棚で生活させている。(つづく)

「移住者と連帯する全国ネットワーク(移住連)代表理事」

エルライブ 谷合佳代子さんが語る 戦後労働運動とメーデー 戦後のメーデーの歴史の第17回メーデーには、を学ぶ講演会が8月7日、東京都内で開かれた(写真左)。主催は京都地域メーデー実行委員会。講師はエル・ライブラリ館長の谷合佳代子さん。第2次大戦後、はじめて開催された1946年

戦後のメーデーの歴史の第17回メーデーには、を学ぶ講演会が8月7日、東京都内で開かれた(写真左)。主催は京都地域メーデー実行委員会。講師はエル・ライブラリ館長の谷合佳代子さん。第2次大戦後、はじめて開催された1946年

戦後のメーデーの歴史の第17回メーデーには、を学ぶ講演会が8月7日、東京都内で開かれた(写真左)。主催は京都地域メーデー実行委員会。講師はエル・ライブラリ館長の谷合佳代子さん。第2次大戦後、はじめて開催された1946年

戦後のメーデーの歴史の第17回メーデーには、を学ぶ講演会が8月7日、東京都内で開かれた(写真左)。主催は京都地域メーデー実行委員会。講師はエル・ライブラリ館長の谷合佳代子さん。第2次大戦後、はじめて開催された1946年



労働〈夢・省〉短気

④

「繰り返し怒声、ゴンチャロフ社員自殺 会社と遺族が和解」朝日新聞 デジタル7月2日) 洋菓子メーカー「ゴンチャロフ製菓」(本社・神戸市灘区)の男性社員・前田颯人さん(当時20)が、16年に自殺したこと

をめぐり、同社が上司のパワハラ、長時間労働との因果関係を認め、遺族側と和解した。和解は6月11日付。7月2日に会見を開いた母親の和美さんと弁護士によると、安全配慮義務違反を会社が

認めた。損害賠償金を支払うという。前田さんは高卒卒業後の14年4月に正社員として入社し、ゼリーやチョコレートの製造を担当。だが、翌15年10月ごろ、不良品をめぐり上司から「お前、牛のエサ作っとんか」などと繰り返し怒鳴られた。時間をめくり、同社が上司のパワハラ、長時間労働との因果関係を認め、遺族側と和解した。和解は6月11日付。7月2日に会見を開いた母親の和美さんと弁護士によると、安全配慮義務違反を会社が

認めた。損害賠償金を支払うという。前田さんは高卒卒業後の14年4月に正社員として入社し、ゼリーやチョコレートの製造を担当。だが、翌15年10月ごろ、不良品をめぐり上司から「お前、牛のエサ作っとんか」などと繰り返し怒鳴られた。時間をめくり、同社が上司のパワハラ、長時間労働との因果関係を認め、遺族側と和解した。和解は6月11日付。7月2日に会見を開いた母親の和美さんと弁護士によると、安全配慮義務違反を会社が

認めた。損害賠償金を支払うという。前田さんは高卒卒業後の14年4月に正社員として入社し、ゼリーやチョコレートの製造を担当。だが、翌15年10月ごろ、不良品をめぐり上司から「お前、牛のエサ作っとんか」などと繰り返し怒鳴られた。時間をめくり、同社が上司のパワハラ、長時間労働との因果関係を認め、遺族側と和解した。和解は6月11日付。7月2日に会見を開いた母親の和美さんと弁護士によると、安全配慮義務違反を会社が

認めた。損害賠償金を支払うという。前田さんは高卒卒業後の14年4月に正社員として入社し、ゼリーやチョコレートの製造を担当。だが、翌15年10月ごろ、不良品をめぐり上司から「お前、牛のエサ作っとんか」などと繰り返し怒鳴られた。時間をめくり、同社が上司のパワハラ、長時間労働との因果関係を認め、遺族側と和解した。和解は6月11日付。7月2日に会見を開いた母親の和美さんと弁護士によると、安全配慮義務違反を会社が

認めた。損害賠償金を支払うという。前田さんは高卒卒業後の14年4月に正社員として入社し、ゼリーやチョコレートの製造を担当。だが、翌15年10月ごろ、不良品をめぐり上司から「お前、牛のエサ作っとんか」などと繰り返し怒鳴られた。時間をめくり、同社が上司のパワハラ、長時間労働との因果関係を認め、遺族側と和解した。和解は6月11日付。7月2日に会見を開いた母親の和美さんと弁護士によると、安全配慮義務違反を会社が

認めた。損害賠償金を支払うという。前田さんは高卒卒業後の14年4月に正社員として入社し、ゼリーやチョコレートの製造を担当。だが、翌15年10月ごろ、不良品をめぐり上司から「お前、牛のエサ作っとんか」などと繰り返し怒鳴られた。時間をめくり、同社が上司のパワハラ、長時間労働との因果関係を認め、遺族側と和解した。和解は6月11日付。7月2日に会見を開いた母親の和美さんと弁護士によると、安全配慮義務違反を会社が

認めた。損害賠償金を支払うという。前田さんは高卒卒業後の14年4月に正社員として入社し、ゼリーやチョコレートの製造を担当。だが、翌15年10月ごろ、不良品をめぐり上司から「お前、牛のエサ作っとんか」などと繰り返し怒鳴られた。時間をめくり、同社が上司のパワハラ、長時間労働との因果関係を認め、遺族側と和解した。和解は6月11日付。7月2日に会見を開いた母親の和美さんと弁護士によると、安全配慮義務違反を会社が

認めた。損害賠償金を支払うという。前田さんは高卒卒業後の14年4月に正社員として入社し、ゼリーやチョコレートの製造を担当。だが、翌15年10月ごろ、不良品をめぐり上司から「お前、牛のエサ作っとんか」などと繰り返し怒鳴られた。時間をめくり、同社が上司のパワハラ、長時間労働との因果関係を認め、遺族側と和解した。和解は6月11日付。7月2日に会見を開いた母親の和美さんと弁護士によると、安全配慮義務違反を会社が

認めた。損害賠償金を支払うという。前田さんは高卒卒業後の14年4月に正社員として入社し、ゼリーやチョコレートの製造を担当。だが、翌15年10月ごろ、不良品をめぐり上司から「お前、牛のエサ作っとんか」などと繰り返し怒鳴られた。時間をめくり、同社が上司のパワハラ、長時間労働との因果関係を認め、遺族側と和解した。和解は6月11日付。7月2日に会見を開いた母親の和美さんと弁護士によると、安全配慮義務違反を会社が

(7月3日 狐火)

トガシさんの「沖縄便り」⑮ 「助けてクミソーリヨ」

歌を詠んでみました。それを届けようとし、「助けて」ガマの奥から。そこには沖縄戦当時聞こえるも、この石重く、背景があります。



糸満市のガマ「サキアブ」

糸満市の山城壕（山城ガマ）では、米軍の砲撃で入口が崩落し、ガマに逃げた家族5人が閉じ込められました。たまに水が外に水汲みに出た娘が驚いて近所

わが読谷村のヤーガ

ガマでも、天井の岩盤が砲撃で崩れ、多くの住民が押しつぶされました。

野鉢山が辺野古に持つ「遺骨を拾え」「採掘後は元通りに埋め土をするように」と。

今年になって、戦没者が最初に埋葬された「魂魄の塔」近くで熊

今年になって、戦没者が最初に埋葬された「魂魄の塔」近くで熊

今年になって、戦没者が最初に埋葬された「魂魄の塔」近くで熊

今年になって、戦没者が最初に埋葬された「魂魄の塔」近くで熊

今年になって、戦没者が最初に埋葬された「魂魄の塔」近くで熊

3月2日、断食中のガマで入口が崩落し、ガマに遺骨を探す。具志堅隆松さんが、県庁の知事に向かって叫びました。「玉城デニーサン、助けてクミソーリヨ」（助けて下さいよ）。

遺骨交じりの土砂が、辺野古新基地建設予定地の埋め立てに使われる事態に直面しているのです。「助けてクミソーリヨ」は遺骨の声であり、

ぶされた住民は痛さをこらえてか、ずーと歌を歌っていたという。その声を聞く住民は、ただただ「悶え神」

分には拾われていない遺骨があります。遺骨は、いままや石や土と溶け込んだものになっていま

分には拾われていない遺骨があります。遺骨は、いままや石や土と溶け込んだものになっていま

まい・しよっと (12)



広島市内、鶴見橋から比治山を見る。鶴見橋は爆心から約1・4キロ。付近に集合していた中学生の1人は「強烈な閃光と轟音。頬の皮膚がペロリと垂れ下がった。煙と粉塵の中、壊れかけた橋を渡り比治山へ逃げた。後から後からくる人の群れは、無残だった」と60年後に記した。

(8月7日撮影、Mark)

夏の体操
渡辺信雄
蝉が鳴き始めると共に目覚め、夏草をかき分けて、すぐに林の方へ出かけた。朝から小鳥の誘う声、樹間に人影が揺れて、ときどきした。いち、にい、さん…かけ声かして、私も全身で体操をした。数えきれない人々が、誰の命令によるのでもなく、自由に体を動かしていた。心地よい汗の滴、悪夢を追い出して、光を浴びる。日々、生き返る。涼風が立つ。

前号に続いて被爆者の声を紹介する。
声を紹介する。
声を紹介する。
声を紹介する。

被爆者は訴える 第3回
脇田和也 (非正規雇用労働者)
の死、離婚など、二重三重の苦しみを背負い込んで、女性5人で「会」を旗上げし、新聞配達や学校の事務補助をしながら活動。「核兵器の禁止は、被爆国である日本国民こそが率先して広く世界に訴えなければならぬ」と訴えた。今年5月に95歳で亡くなった。

被爆者は訴える 第3回
脇田和也 (非正規雇用労働者)
の死、離婚など、二重三重の苦しみを背負い込んで、女性5人で「会」を旗上げし、新聞配達や学校の事務補助をしながら活動。「核兵器の禁止は、被爆国である日本国民こそが率先して広く世界に訴えなければならぬ」と訴えた。今年5月に95歳で亡くなった。

被爆者は訴える 第3回
脇田和也 (非正規雇用労働者)
の死、離婚など、二重三重の苦しみを背負い込んで、女性5人で「会」を旗上げし、新聞配達や学校の事務補助をしながら活動。「核兵器の禁止は、被爆国である日本国民こそが率先して広く世界に訴えなければならぬ」と訴えた。今年5月に95歳で亡くなった。



が侵害されている。日本は、戦争する体制を強化し、戦争の一步手前。

イベント紹介

8月22日(日)
遺骨眠る土砂を辺野古に使わせない！
STOP! 辺野古新基地建設！

大阪アクション7周年集会
午後2時開始 午後5時からデモ
●PLPP会館5階会議室(大阪市北区)
地下鉄扇町駅、JR環状線天満駅下車
講演：具志堅隆松さん
(沖縄戦遺骨収集ボランティア 「ガマフヤー」代表)

入場料：800円 Zoom参加あり
主催：STOP! 辺野古新基地建設！大阪アクション